地域密着型サービス　運営推進会議　報告書

施設名：認知症高齢者グループホーム 宇賀の杜 ・里　楽舎

施設種類：グループホーム　・　小規模多機能型居宅介護施設　　　　　　　デイサービス　（該当に○）

日　　時：令和6年7月23日（火）

会　　場：グループホーム宇賀の里　相談室

出席者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者代表 | 1人 | 地域包括支援センター職員 | 1人 |
| 利用者家族 | 　1人 | 出雲市職員 | 0人 |
| 地域の代表 | 2人 | グループホーム施設長・管理者・他スタッフ等 | 6人 |
| 役員代表 | 0人 | その他（他施設の見学者） | 0人 |
| 合　計 | 11人 |  |

（配布人数）

（議題）

・出席者紹介

* グループホーム・デイサービス入居者・利用者状況説明
* メイン議題

「レクリエーションとのその効果」について

・参加者の方より一言・アドバイス等

（報告事項）

　グループホーム 宇賀の杜・里 楽舎 令和6年度 第2回目（杜108回目・里98回目）となる運営推進会議をグループホーム宇賀の杜楽舎・グループホーム宇賀里の楽舎と合同で開催致しました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、マスク着用、3密回避（換気）を行いながら、会議形式で開催致しました。

皆様からの貴重なご意見やご感想を頂き、有意義な機会となりました。

○グループホーム 宇賀の杜　利用状況（2024.7.23現在）

入居者18名（東舎9名・西舎9名）

男性5名　　女性　13名　　　平均要介護度　2.39

　最高年齢　97歳　　最低年齢　68歳　　　平均年齢　85.6歳

○デイサービス 宇賀の杜　利用状況

　　現在登録者数　　23名

　　男性　8名　　女性　15名　　平均要介護度　2.28

最高年齢　95歳　　最低年齢　76歳　　　平均年齢　86.7歳

○グループホーム 宇賀の里　利用状況

入居者9名

男性　2名　　女性　7名　　　平均要介護度　2.77

　最高年齢　100歳　　最低年齢　78歳　　　平均年齢　86.6歳

○メイン議題

「レクリエーションとその効果」について

レクリエーションの意義や目的を確認し、現在楽舎で行っている取り組みを写真を交えてご報告致しました。

レクリエーションは娯楽や余暇、気晴らしなどを意味し、その人らしく過ごすことで人は元気になります。レクリエーションはご利用者様の幸福につながる支援です。

レクリエーションの目的

1. 楽しい時間を過ごす
2. その人らしさを引き出す
3. 話をしてもらう
4. 残存能力を活かす

利用者様一人一人の視点に立ち「楽しい！」という気持ちを引き出し、どんな場合も利用者様の自尊心を傷つけない対応を心がけることが大切です。

写真を交えて楽舎で行っているレクリエーションを紹介

・「パズル」　ペットボトルのキャップや段ボールを使って作ったパズルです。ひらがな、魚辺の漢字、県名、花の名前など、色もカラフルで目で見て楽しく、触って手指のリハビリにもなります。

・「野菜、花作り」プランターで野菜や花を育てています。利用者様と一緒に水やりをして、収穫して、お料理に使っています。収穫する喜び、食べる楽しみ、季節を感じる会話のきっかけになっています。

・「ドライブ」　天気の良い日はおやつを持ってドライブに出かけています。車から降りずに、グルっと回るだけでも良い気分転換になります。

・「季節の行事と食レクリエーション」　季節の行事やイベントに合わせて食べる事も楽しんで頂けるように毎回計画しています。コロナ禍で控えていた利用者様と一緒に行う食レクリエーションを再開し、目の前でホットプレートでたこ焼き、焼きそばを調理してできたてを提供しました。「美味しい！」とたくさんおかわりをされ、料理をきっかけに思い出話に花が咲いたり、匂いや温度、見た目など五感の刺激になります。楽舎の支援方針「口から食べる喜びを最期まで」を大事に支援しています。

レクリエーションを通して利用者様が笑顔になると、スタッフも嬉しい気持ちになり、自信につながります。レクリエーションの現状を日々、見直しながら、楽舎理念である「一瞬の笑顔を求めて…」をこれからも支援していきたいと思います。

**資料を参加者方々へ配布し、皆様よりご意見をいただきました。**

〈地域包括支援センター様から〉

・はじめて会に参加しました。色々な行事をされていて、利用者様がとても楽しそうにされていると思いました。質問なのですが、ドライブはいつも何人くらいで行かれるのですか？

→〈楽舎から〉車椅子で乗車が難しい方お一人はいつも留守番なのですが、それ以外の8名の利用者様と、スタッフ2名で、車2台で出かけています。ドライブだけだと、当日天気を見て、パッと決めて出られるのは良い点だと思います。

〈ご家族様から〉

・楽舎へ入所してから表情が良くなった。良いケアをしてもらっているんだな、と思います。

〈地域代表者様から〉

・コロナをきっかけに、世の中が色々変わりました。地域全体での行事（運動会とか）あまりしなくなりましたね。以前のように弁当も出ないし、現地解散、半日だけとか…楽舎内で行事を楽しんでおられることは良い事です。

→〈楽舎から〉以前は福祉フェスティバルなど、楽舎全体で出かけて行って地域に取組みなどを披露する場がありましたが、今はそれもなくなりました。食事も配食サービスを取り入れている施設が多い中、楽舎は手作りをしています。すごい料理はできませんが、楽舎で出来る事をしていこうと思います。

〈地域代表者様から〉

・野菜を育てて、収穫して、食べるところまで全部できて良いですね。明日は土用の丑の日ですが、ぜひうなぎを！少しの量でも、季節の食べ物は利用者様も喜ばれると思いますから。（翌日、うなぎを提供しました）

〈デイサービス管理者から〉

・食レクリエーションの話（写真）から、コロナ前はデイでもホットプレート料理の支援をしていたな、と思い出しました。そうめん流しなどの行事はしていますが、ホットプレート料理支援も再開したい。良い刺激になりました。

〈楽舎看護師から〉

・楽舎はキッチンとホールが対面になっており、料理をすると匂いが良く分かり、「今日は何だろう？」「魚ですかね？」「やっぱり煮魚でしたね～」など五感の刺激になります。湯銭するだけの所も多いですが、手作りでみそ汁の具を切ってもらうことが手続きの記憶の支援になる。やはり楽舎は手作りで調理をすることがとても良い支援だと思いました。

（楽舎より）

貴重なご意見、アドバイスを頂きありがとうございました。

グループホーム、デイサービスとそれぞれ良いところをお互いに取り入れながら、これからも利用者様が楽しんでもらえる行事やレクリエーションを考えて支援していきたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上